

つる

都留市議会だより

冬号



昔の遊びに挑戦！
〜放課後子ども教室



〜禾二っ子クラブ



定例会で決まったこと 他…2～3
市長所信表明 …………… 4
代表質問・一般質問目次 他…5
代表質問・一般質問…6～10
各委員会の審査内容と結果…11～12

定例会議案議決結果 他…13
議会に関する市民アンケート結果
……………14～15
議員視察研修 他…16～17
未来を紡ぐ～若者×議会～他…18

令和4年10月臨時会で 決まった主なこと

補正予算（1件）

議第64号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第6号）

■3億362万9千円を追加

《主な歳出の内容》

●総務費

マイナンバーカードを取得し、かつ公金受取口座の登録をされた市民一人につき5千円を給付します。

7千881万7千円を追加

●民生費

2億601万2千円を追加
低所得世帯へ1世帯あたり5万円を給付する国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業」に要する経費、価格高騰による運営経費負担増を踏まえ、市内の障害福祉サービス提供事業所・介護サービス提供事業所へ支援金を給付する経費

●商工費

1千880万円を追加
物価高騰の影響を受ける市民の生活支援のため、「わくわくポイント事業」において、期間限定ポイント割増キャンペーンを実施します。
(令和5年1月14日 終了)



人事案件（1件）

議第65号 監査委員の選任について同意を求める件

○監査委員

古川渡 藤本 明久

令和4年12月定例会で 決まった主なこと

条例改正（8件）

議第66号

都留市個人情報の保護に関する法律施行条例制定の件
令和5年4月1日から個人情報保護制度が全国統一のルールとなるため、制度を運用するための条例を制定します。

議第70号

都留市職員の定年等に関する条例中改正の件
令和5年4月1日からの職員の定年の段階的な引き上げや管理監督職務上限年齢制の制定などの整備を行います。

議第79号

都留市職員給与条例等中改正の件
山梨県人事院勧告等により、勤勉手当の支給割合等を引き上げ都留市長等の給与条例中改正の件

議第80号

一般職等の給与改定等を踏まえ、期末手当の支給割合を引き上げほか4件

補正予算（5件）

議第77号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第7号）

■3億5千295万円を追加

《主な歳出の内容》

●総務費

2億1千85万4千円
びゅあ富士施設改修事業設計費、ふるさと応援寄附金促進事業の増額、本庁舎等の電気料金及び公用車燃料費の高騰に要する経費など

●民生費

9千165万円
障害福祉サービス費及び生活保護医療扶助費の増額など

●教育費

2千217万1千円
 小中学校や社会教育施設等の電気料金及び燃料費の高騰に要する経費
 議第78号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算(第2号) 財源更正

議第82号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第8号)

《主な歳出の内容》

●衛生費

「出産・子育て応援交付金事業」に要する経費ほか

1億964万7千円

■1億1千441万9千円を追加

「出産・子育て応援交付金事業」とは？

妊娠届出や出生届出を行った妊・産婦などに、「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に行い、安心して出産・子育てができる環境の整備を行う事業です。

《出産・子育て応援交付金》

(1) 妊娠届出時に妊婦1人につき5万円

(2) 出生届出を行い、乳幼児全戸訪問後に

出生児1人につき5万円

※令和3年度に妊娠届出をし、令和4年4月1日以降に産産された方も対象です。



人事案件 (1件)

議第81号 教育委員会委員の任命について同意を求める件

○教育委員 小野 弓指 恵子

水道料金の基本料金の免除を2か月間延長します。
 (免除延長期間：令和5年2月1日～令和5年3月31日)

■90万円を追加

議第83号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算(第3号) 財源更正

議第84号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第4号)

その他 (5件)

議第72号

大月都留広域事務組合規約中変更の件

令和5年4月1日より、ごみ収集運搬事務を市へ移管します。

議第73号

指定管理者の指定の件
 (都留市デイサービスセンター)

○(福) 都留市社会福祉協議会

令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)

議第74号

指定管理者の指定の件
 (都留市健康ジム)

○ミスノグループ

令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)

議第75号

公益社団法人山梨県青果物経営安定基金協会に対する財産の出資の件

市道の路線の認定の件

議第76号

都留市四日市場 町並西側平岩線

議員提出議案 (1件)

議員提出議案第2号 都留市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件

特別職及び一般職の給与改定等を踏まえ、期末手当の支給割合を引き上げ

10月臨時会会期日程

◆10月26日 本会議

(開会)

○会議録署名議員の指名

○会期の決定

○提出議案の市長説明

○議案審議

(閉会)

12月定例会会期日程

◆11月30日 本会議

(開会)

○会議録署名議員の指名

○会期の決定

○提出議案の市長説明

並びに所信表明

○議案審議

○議会運営委員会委員の選任

○議案の委員会付託

◆12月12日 本会議

○代表質問

◆12月13日 本会議

○一般質問

◆12月14日

総務産業建設常任委員会

社会厚生常任委員会

◆12月16日 本会議

(閉会)

○委員長報告

○議案審議

市長の所信表明

○「医師の働き方改革に伴う、都留市立病院の診療体制再編」について

「医師の働き方改革」は、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の健康確保と長時間労働の改善を行うため、政府主導で進めており、適用開始となる令和6年4月が迫っている。

現在、当院の常勤医師は、日中の勤務に加え、夜間救急診療対応や当直業務を行っており、勤務時間が大変不規則となっている。また、県内公立病院のほとんどが土曜日の外来診療を休止している中、当院は開設以来、土曜日も平日同様の外来診療を行っているため、これが医師の長時間労働を常態化させ、医師の休日確保が難しい状況へと繋がっており、常勤医師の多くは、国が定める時間外労働時間の上限基準である年960時間を超えることが推計されている。

このままでは、今後の医師確保への影響が懸念されるため、将来にわたって地域の医療提供体制を守っていくためには医師が働きやすい労働環境を構築することが重要であると判断し、来年度から当院での土曜日外来診療を休止することとした。平日診療体制の拡充を図り、医療サービスの低下とならないよう努めるとともに、健康診断等の予防医療の拡充を検討していく。

○「学校給食調理業務及び配送業務の民間事業者への委託」について

学校給食調理業務は、これまで都留市小中学校給食会に委託してきたが、慢性的な調理員不足が続き、安定的な運営が難しくなったため、県内他市の状況を踏まえ、学校給食に関する知識と技術、豊富な人的資源を持つ民間事業者に調理及び配送業務を委託することが、安全・安心、そしておいしい給食を安定提供するための最善の方策であると結論付けた。

委託事業者の選定にあたっては、価格だけではなく、企画内容や提案内容、会社の信頼性なども選定基準とする公募型プロポーザル方式で行い、厳正な審査の結果、全国的に学校給食調理業務等を請け負い、県内でも実績のある民間事業者を最良の提案者と決定した。

○「いーばしよ」づくり事業の取組状況

『いーばしよ』づくり事業は、現在、市内33か所で、体操や踊り、工作など多様な活動を行っているが、このたび厚生労働省の表彰制度である「健康寿命をのばそう！アワード」において、自治体部門の「優良賞」を受賞した。これはコロナ禍において、フレイル※予防と感染予防を両立させた活動や住民同士の活発な交流に、各『いーばしよ』が住民主体で精力的に取り組まれた結果である。

今後、市内50か所の『いーばしよ』設置を目指すとともに、既存団体への継続支援を行い、高齢者の健康づくり・生きがいづくりに取り組む。

※フレイルとは…年をとって体や心の働き、社会的な繋がりが弱くなった状態のこと。



医師の働き方改革を進めている市立病院

市政を問う!

代表質問

1 つる清流会 山口 一裕 議員 6ページ

- (1) 出産・子育て応援交付金について
- (2) 本市の今後の観光戦略について
- (3) 災害時に避難所となる学校施設のトイレ整備について

2 新政つる 藤江 喜美子 議員 7ページ

- (1) 生涯活躍のまち・つる事業について
- (2) ごみ処理行政の今後について

3 ビジョン21 奥秋 保 議員 8ページ

- (1) 企業誘致の今後の進展について
- (2) 医師の働き方改革と今後の病院診療体制について
- (3) インボイス制度と地元産業について

一般質問

1 山本 美正 議員 9ページ

- (1) 自治体デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進計画について

2 志村 武彦 議員 9ページ

- (1) 空き家対策について
- (2) 介護保険の現状と今後の見込みについて

3 藤本 明久 議員 10ページ

- (1) 将来を見据えた高齢者問題に関連する本市の対応について

4 小俣 武 議員 10ページ

- (1) 上水道事業について
- (2) 下水道事業について

党派構成

●令和4年10月26日現在

ビジョン21

代表 国田 正己 議員
小俣 武 議員
奥秋 保 議員

木曜クラブ

代表 山本 美正 議員
小俣 義之 議員
鈴木 孝昌 議員

つる清流会

代表 日向 美徳 議員
谷垣 喜一 議員
山口 一裕 議員

新政つる

代表 藤江喜美子 議員
天野 利夫 議員
志村 武彦 議員



議員 一裕 山口 会流清 つる

出産・子育て応援交付金を問う

問 交付金の全体像は。

答 本事業は、妊娠時から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体で実施し、身近な場で相談に応じ、必要な支援につなげることを可能とするものである。

「伴走型相談支援」は、妊娠届出時と妊娠8か月前後、及び出生届出から乳児全戸訪問までの間に面談を実施するものであり、「経済的支援」は、妊娠届出時の面談実施後及び出産届出から乳児全戸訪問までの間の面談実施後に、各5万円相当の出産・子育て応援ギフトを支給するもので、支給形態は、各自治体に任されている。

なお、令和4年4月1日から事業開始前に出産した方には、遡及措置を行うこととされている。

問 市はどのように取り組んでいくか。

答 「伴走型相談支援」は、対面相談を基本としつつ、必要に応じオンライン面談ができる環境整備を図り、体制強化に努める。また、地域子育て支援センターなどの関係機関と連携し、総合的かつ持続的な相談体制の確立を目指す。

「経済的支援」については、出産・子育て応援交付金として現金給付を予定するほか、既存の助成事業を積極的

に周知し、必要な支援に適切につなげていく。

本市の今後の観光戦略を問う

問 桂川の活用として、釣り人への駐車場とトイレ整備の考えは。

答 川釣りなどの駐車場などは、「遊漁券」の販売元である漁業組合が確保するものと考えるが、コロナ禍により、釣り人が増加していることは認識しているため、新しい「観光戦略」の中で、観光資源活用戦略として検討し、漁業組合と連携していきたい。

問 勝山城跡への城整備の考えは。

答 勝山城跡は、平成8年に県の指定文化財となり、その後の学術調査にて、石垣のほか櫓（やぐら）などの可能性のある建物の遺構が確認されているが、十分な資料はなく現状ではその復元は難しい。

県の指定文化財は、法や条例に基づいた管理が義務付けられ、現状を変更する行為は規制されており、修復や復元も県の許可が必要となるが、史実に基づかない建物を建てるなど、その歴史的な価値を損なう行為は認められないため、これを踏まえた地域振興や観光振興を検討していく。

災害時に避難所となる学校施設のトイレ整備を問う

問 安全で安心な避難所のトイレ整備を問う。

答 市では、電気や水道等のインフラが使用不可となった場合でも、トイレの衛生環境悪化を防げるよう、携帯用簡易トイレや組立式仮設洋式トイレのほか、機器レンタル業者との災害時連携協定を締結し、避難所等に仮設トイレを優先的に配置できることになっている。

今後は、長期的な避難所運営も視野に入れ、各指定避難所となっている施設に最適な方法を、その財源も含め、調査、研究し、災害時であっても少しでも安全で安心して過ごせる避難所の整備に努めていく。



生涯活躍のまち・つる事業を問う



新政つる 藤江 喜美子 議員

問 ゆいまるる都留の入居状況は。市外が66戸66名、市内が11戸12名である。

答 地域交流拠点施設の自治会及び入居者の交流について。

問 定期的・頻繁な交流活動は行えていないが、学生参加によるイベントなどの交流活動を実施している。

答 介護は、敷地内の小規模多機能型居宅介護施設をはじめ、外部介護サービスを利用され、医療は、都留市立病院や市内民間医療機関と提携している。また、地域公共交通については、路線バス「道の駅つる線」を運行している。

問 複合型居住プロジェクト全体整備計画の進捗状況は。

答 田原交流センターの建設と域内道路等の基盤整備を進め、サービス付き高齢者向け住宅の実施事業者の誘致や大学関連施設建設の調整なども併行して取り組んでいる。

問 田原交流センターはどのような事業を展開するのか。

答 指定管理者応募の際には、施設利用のみに留まらず、多くの方々をエリアへと呼び込む事業展開の提案があった。市外事業所誘致策等も検討し

ており、多世代の活躍の場にふさわしい、さまざまな事業展開をいただけて考えている。

問 高齢者居住施設の誘致状況は。

答 現在、公募要項の見直しと調整をしている。

問 大学関連施設はどのような施設か。

答 多世代や地域との交流スペースやフリースペースのほか、大学による地域貢献機能を盛り込んだ施設整備を計画している。

問 隣接する公園整備内容と複合型居住プロジェクトの関わりは。

答 幅広い世代の方が利用できるような施設整備を検討している。複合型居住プロジェクトとの関わりについては、「憩いの場」や「学びあいの場」などとして活用できると考えている。

問 複合型居住プロジェクトの課題は。

答 事業の最終目標は、施設整備ではなく、ソフト事業の充実をどのような形としてデザインしていくかに尽きるものと考え、これこそが課題である。

ごみ処理行政の今後を問う

問 循環型社会形成推進地域計画とは。

答 新ごみ処理施設における環境省の補助事業を申請する際に必要な計画である。計画期間は、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間で、計画終了後のごみ排出量減量目標値が設定される。

問 ごみの減量をどのように進めていくのか。

答 現在の収集状況をもとに、資源ごみの分別の徹底と見直しを図りながら取り組み、生ごみの堆肥化など、今後のごみ処理のあり方も検討している。

問 また、リデュース・リユース・リサイクルを推進する「3R」に加え、「ごみになるものを家庭に持ち込まない、 unnecessaryなものを買わない、断る」といった「リフューズ」を加えた「4R」を啓発していく。



企業誘致の今後の進展を問う



ビジョン21 奥秋 保 議員

問 製造工程の国内回帰が重視される中、当局の産業振興策を問う。

答 長期総合計画に掲げる「豊かな産業のあるまちづくり」の実現に向け、地域の実情に合わせた条件緩和策を十分検討しながら、企業誘致を進め、新しい企業立地支援体制を構築する。

厚原牛石地区農地については、県が策定している「やまなし未来ものづくり推進計画」の重点促進地区に位置付けることにより、農振農用地からの除外の配慮を受け、転用許可が可能となり、企業誘致を進めることができることから、庁内に専門班を設置し、令和7年度中までの用地取得及びインフラ整備等の完了を目指し準備を進めている。

市内での企業立地による雇用機会の確保への市民の強い要望もあることから、地域経済の循環促進と持続化のため、中長期的な企業立地支援、並びに積極的な企業誘致等により市内における既存の生産拠点の持続化と新規生産拠点の開発を図り、産業振興を推進していく。

医師の働き方改革と今後の病院診療体制を問う

問 土曜日休診により医療サービスの低下や収益の減少が懸念される。

平日の外来診療体制の根本的な見直し等の検討は。

答 平日午後の外来診療の拡充や健康診断による予防医療の拡充など、医療サービスを維持するとともに、収益を確保するための方策を検討している。

問 市民への理解を求める通達方法は。広報、ホームページ、都留CAT V等で案内するとともに、患者様には医師や受付窓口からお知らせする。

答 今後の救急医療体制は。土曜日外来は休診するが、救急診療は、従来どおり土曜日を含めた休日等の救急医療体制により対応する。

インボイス制度と地元産業について

問 インボイス制度とは何か。

答 2023年10月から導入が予定される消費税納税のための適格請求書等保存方式で、請求書や納品書の交付や保存に関する制度である。買い手が仕入税額控除を受けるためには、売り手から発行された「適格請求書（インボイス）」の保存が必要になる。

また、インボイス発行事業者は納税

事業者となるため、インボイスの写しや電磁的記録を7年間保存しなければならない。

問 制度がもたらす地元産業への影響は。

答 課税売上が1千万円以下の中小企業、個人事業主、フリーランスなどは、場合によっては適格請求書発行事業者になることを発注業者から要求されることでシステム改修や納税義務が生じ、複雑な経理事務や新たな経費が生じることが考えられる。

これまで消費税の納税義務を免除されていた中小企業や個人事業主が一番大きな影響を受けることになるため、制度に対応する事業者支援制度の活用について周知を図るとともに、商工会と連携し、本制度の運用と円滑な導入に対し協力していきたい。



空き家対策を問う



志村 武彦 議員

- 問** 空き家の現状は。
- 答** 現在689件で、居住可能なA・Bランクが481件、居住不可能なC・Dランクが208件である。
- 問** 空き家の改修と利用促進について。
- 答** 空き家バンク制度や空き家バンクを活用事業補助金などの補助制度を整備し、空き家なんでも相談会を実施している。
- 問** 空家等対策特別措置法について。
- 答** 平成27年5月より施行されている。
- 問** 特定空き家の現状と本市の取り組みは。

自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画を問う



山本 美正 議員

- 問** デジタル化推進の本市の状況は。
- 答** 年度内に「都留市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を策定し、取り組みを進める。
- 問** マイナンバーカードの普及促進への取り組みは。
- 答** イベント活用や広報する・CATVなどの周知活動、また、臨時申請窓口の設置や交付窓口の夜間開設などにより、普及促進に努めている。
- 問** マイナンバーの普及とデジタル化対応について。
- 答** カード交付率は、令和4年11月末で50・9パーセントである。

- 問** 所有者調査や助言・指導を行い解消している。
- 答** 所有者調査や助言・指導を行い解消している。
- 問** 介護保険の現状と今後の見込みは。
- 答** 介護認定の現状は。令和4年3月末現在で65歳以上の被保険者は1千464人、2号被保険者を含めた全体では1千490人である。
- 問** 今後の見込みは。
- 答** 本年度末1千477人を、以後も増加を見込んでいる。

- 問** デジタル化推進の本市の状況は。
- 答** 本年度より、「いーばしよ」の参加者を対象にした「タブレット型端末講座」などを開催し、不慣れな方であってもデジタルによる行政や民間サービスの恩恵を受けられるよう、支援している。
- 問** 本市におけるデジタル専門人材の必要性は。
- 答** 市民目線で行政サービスをデザインし、デジタル技術やデータ活用を新しい価値を生み出す「自治体DX」を担う人材を育成することが重要である。
- 問** 今後の課題は。

- 問** 要介護者等の増加への取り組みは。
- 答** 地域包括支援センターを中心に各種サービスに繋げる支援や介護交流会を開催している。
- 問** 要介護者等の増加抑制への取り組みは。
- 答** 通いの場やフレイル予防の普及啓発をしている。
- 問** 現在の介護保険料は。
- 答** 月額で国平均6千14円、山梨県平均5千783円、本市は5千683円である。
- 問** 今後の介護保険料は。
- 答** 国の動向を踏まえ決定する。



- 問** 多様化する地域課題の解決に対しては、行政だけでなく、市民や地域企業がテクノロジーを活用して課題解決を目指す、いわゆる「シビックテック」に取り組む必要がある。
- 答** 今後「シビックテック」実現に向け、市民参加型のDX人材育成研修など、本市で活躍いただけるDX人材の育成にも取り組む。

上水道事業を問う



小俣 武 議員

問 揮発性有機化合物（ETBE）の混入確認から今日までの経過と対応は。

答 ETBEが検出されて以降、第1水源からの取水を停止し、第3水源から最大限取水するとともに、他の配水系エリアの水道水を配水してきたが、令和4年11月に第3水源からもETBEが検出されたため、現在は、第3水源からの取水を停止し、ETBEが検出されていない第1水源からの取水を再開している。

対応としては、毎日の職員による水道水の試飲確認のほか、毎週2回、水

将来を見据えた高齢者問題に関連する本市の対応を問う



藤本 明久 議員

問 増え続ける介護認定者のサービスをどのように考えるか。

答 現在、国において高齢者の急増を見据え、高齢者が安心して介護を受けられる体制を将来に渡って維持していくための方策を検討している。この動向を注視しながら、介護認定者やその家族の願いに応えられ、地域の介護を維持していけるよう計画を策定したい。

問 人口ビジョンの効果と課題、今後取り組む方向は。

答 令和2年国勢調査では、3万人を維持しているが、維持・増加に向

け、長期総合計画後期基本計画の中核に「雇用の確保」と「子育て支援」を重要項目として据える方向である。

問 不動産開発と企業誘致の進捗状況、人口増に繋がる市全域への企業誘致の考えは。

答 実施された2つの土地区画整理事業は、固定資産税を比較しても大幅な増額となり、まちづくりに大きく貢献した。

今後は、本市に立地しようとする企業の支援措置を充実させるための条例等の整備を進め、土地改良事業に係る財産処分に関し、県との協議を進める

問 新水源の進捗状況と飲料水供給開始までの期間は。

答 新水源は、本年度中にボーリング工事が完了する見込みである。

また、水源施設整備は、令和5年度中に工事が完了する見込みであり、飲料水の供給開始は、令和6年4月1日の予定。



下水道事業を問う

中で、引き続き、産業振興と農業振興の調和を図り、地域の特性を生かした高い付加価値を創出できるように取り組みを進めていく。

問 将来の料金改定は。

答 供用開始以来、料金改定は行っていないが、経営環境はさらに厳しさを増すことが予測されるため、本年度に策定する「都留市下水道事業経営戦略」の基本方針において「適正な使用料設定」を掲げ、使用料金を改定することについて下水道運営委員会の承認を得ている。

改定後の使用料金や時期等は、令和5年度以降に審議し決定する。

■山地が多く可住地域の少ない本市にとつて、多くを占める農業振興地域を開発し、土地の有効活用と産業の活性化を図ることは、雇用や人口問題、税収等、本市を大きく発展させていくでしょう。産業があるところに人は集まります。都留市の将来展望が明るくなるよう期待します。

総務産業建設

常任委員会

12月14日
午前10時から

委員長：小林 健太 副委員長：小俣 哲夫
委員：小俣 武、国田 正己、鈴木 孝昌、藤江 喜美子、山本 美正、天野 利夫

付託された議案9件(条例制定2件、条例改正4件、補正予算1件、その他2件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※委員会では、都留市個人情報の保護に関する法律施行条例制定の件、令和4年度都留市一般会計補正予算(第7号)の一部として、ふるさと応援寄付金における歳入や「ぴゅあ富士」改修に伴う設計業務及び原油価格高騰による料金値上げに伴う「電気料金等価格高騰対策事業」についてなど慎重な審査が行われました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第66号 都留市個人情報の保護に関する法律施行条例制定の件
- ・議第67号 都留市職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件
- ・議第68号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備の件
- ・議第69号 都留市職員の退職手当に関する条例中改正の件
- ・議第70号 都留市職員の定年等に関する条例中改正の件
- ・議第71号 都留市自治基本条例中改正の件
- ・議第75号 公益社団法人山梨県青果物経営安定基金協会に対する財産の出資の件
- ・議第76号 市道の路線の認定の件
- ・議第77号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第7号)



委員会の様子

※議第77号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、3月2日(木)午前10時開会予定です。

各委員会も傍聴することができます。

- 総務産業建設常任委員会……3月15日(水)午前10時
- 社会厚生常任委員会……3月15日(水)午後1時30分
- 予算特別委員会……3月16日(木)、17日(金)、20日(月)午前10時



過去の議会だよりや会議録はホームページでご覧いただけます。



市議会ホームページ



会議録検索システム

社会厚生

常任委員会

12月14日
午後1時30分から

委員長：小澤 眞 副委員長：日向 美徳
委員：小俣 義之、谷垣 喜一、藤本 明久、奥秋 保、志村 武彦、山口 一裕

付託された議案5件(補正予算1件、事業会計補正予算1件、その他3件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

審査した議案(付託議案)

- ・議第72号 大月都留広域事務組合同規約中変更の件
- ・議第73号 指定管理者の指定の件(都留市デイサービスセンター)
- ・議第74号 指定管理者の指定の件(都留市健康ジム)
- ・議第77号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第7号)
- ・議第78号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算(第2号)



委員会の様子

※議第77号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

主な質疑内容

■議第72号 大月都留広域事務組合同規約中変更の件
問 ごみ収集の業者選定も、市が行っていくのか。

答 業者選定から契約、全てを市で行う。初年度は、現在の収集体系をほぼ移管するが、今後、減量化施策に合わせて見直す予定である。

問 ごみ袋の値上げやごみ収集の有料化などが懸念されるが。

答 ごみの減量を第一に考え取り組むが、最終的に減量に至らない場合には、有料化も視野に入れていく。

■議第74号 指定管理者の指定の件(都留市健康ジム)
問 これまでの実績報告等の内容は。

答 利用者実績は、平成30年度にオープンし、平成30年度と令和元年度については、1日平均約100名であったが、コロナの影響を受けて令和2年度以降は、1日平均55名程度に落ち込んでいる。なお、収支状況は、平均で年間276万円程度となっている。

■議第78号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算(第2号)
問 指定管理料は変更するのか。

答 コロナの影響もあつたため、今後5年間の推移を見ながら、見直しの検討をする。

問 「びゅあ富士」移管後の運営場所は。

答 現状通りの場所で運営する。



問 生化学自動分析装置ができることは。

答 現在手作業で行っている業務を自動化することで、医療従事者のコロナ等への感染リスク等を抑えることができる。

問 導入により効率上がるのか。

答 現状コロナの検査は、1日どのくらい対応しているのか。

答 平均値で40件から50件程度である。

10月臨時会議決結果

(議員別賛否を含む)

区分	議員名	議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
			一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	
市長提出	議第64号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第65号 監査委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○

12月定例会議決結果

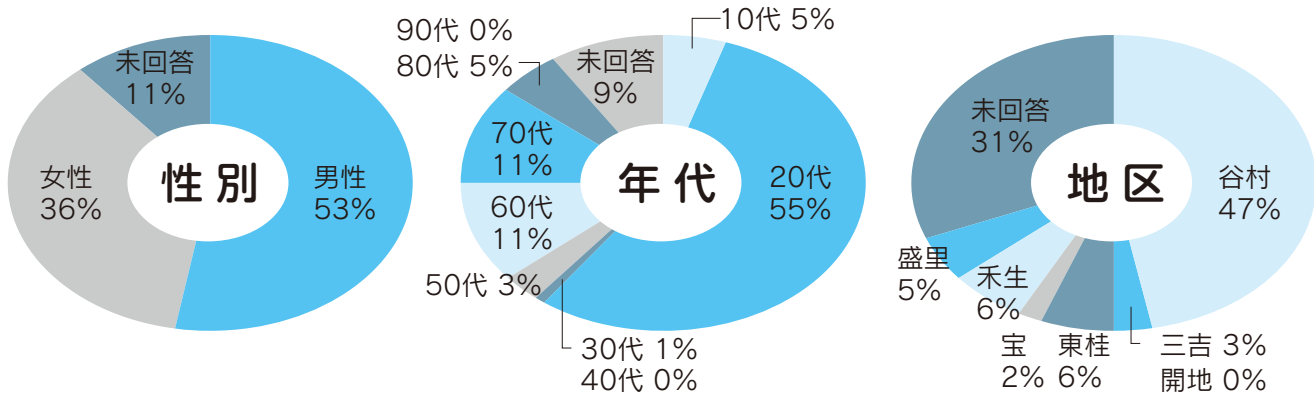
(議員別賛否を含む)

市長提出	議第66号 都留市個人情報保護に関する法律施行条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第67号 都留市職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第68号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第69号 都留市職員の退職手当に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第70号 都留市職員の定年等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第71号 都留市自治基本条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第72号 大月都留広域事務組合規約中変更の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第73号 指定管理者の指定の件(都留市ティサービスセンター)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第74号 指定管理者の指定の件(都留市健康ジム)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	認第75号 公益社団法人山梨県青果物経営安定基金協会に対する財産の出資の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	認第76号 市道の路線の認定の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	認第77号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	認第78号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	認第79号 都留市職員給与条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第80号 都留市長等の給与条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第81号 教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第82号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第83号 令和4年度都留市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議第84号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
議員提出 議案第2号	都留市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

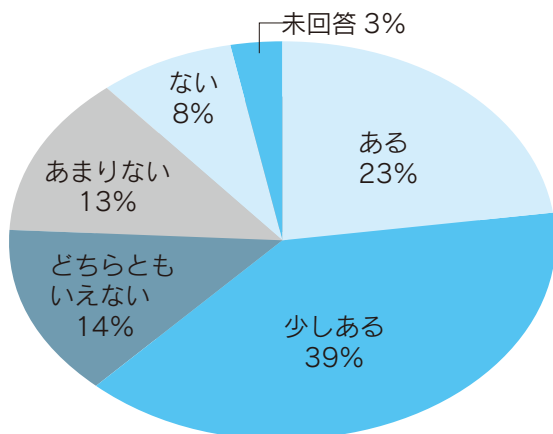
○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長は採決に加わりません。

令和4年度 議会に関する市民アンケート集計結果

●回答いただいた方の状況●

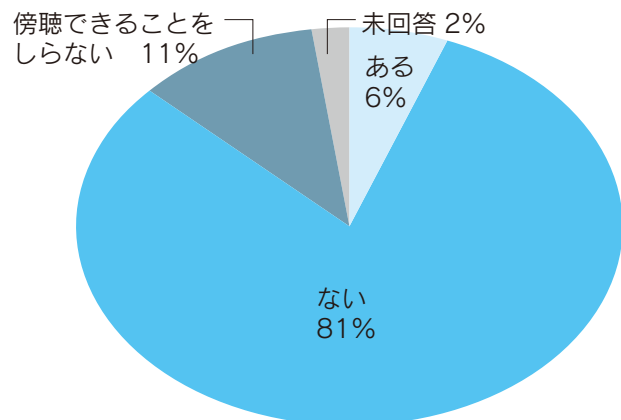


Q1 あなたは市議会に関心がありますか。

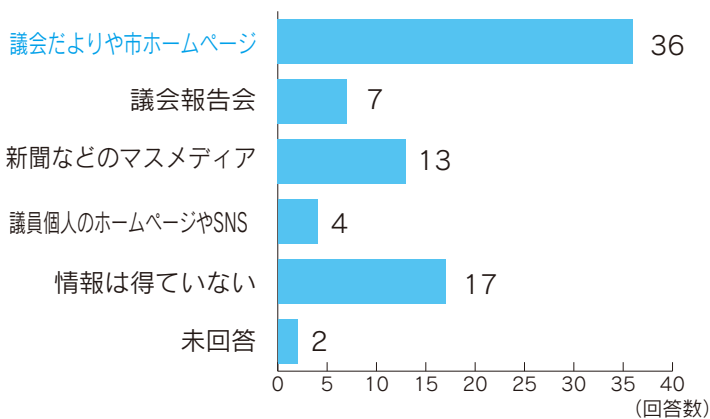


▶「ある」「少しある」を合わせて「関心がある」が約6割(62%)

Q2 市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。あなたは傍聴したことがありますか。

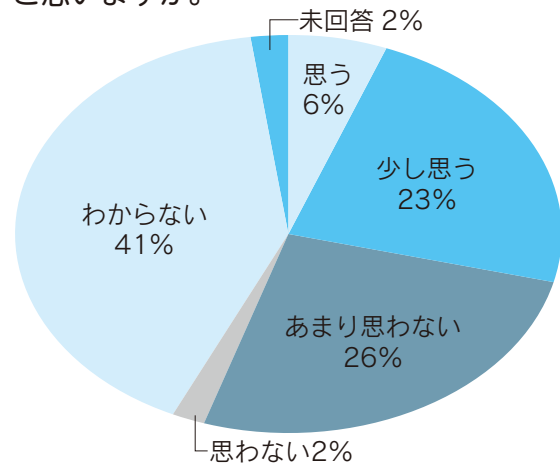


Q3 あなたは市議会の活動や情報をどのような方法で得ていますか。【複数回答あり】



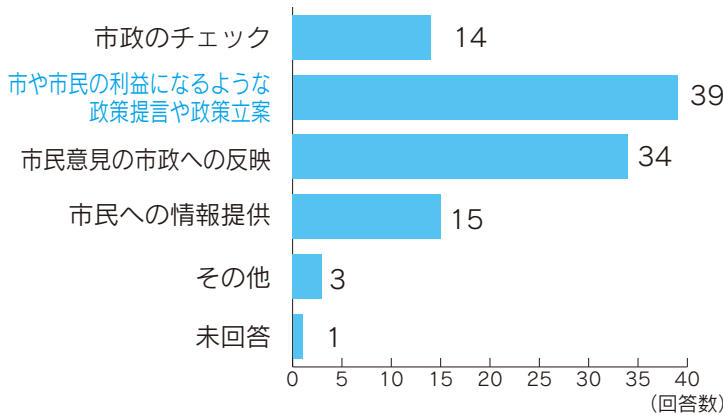
▶回答者の半数以上(56%)は「議会だよりや市ホームページ」で議会情報を得ている。

Q4 あなたは市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

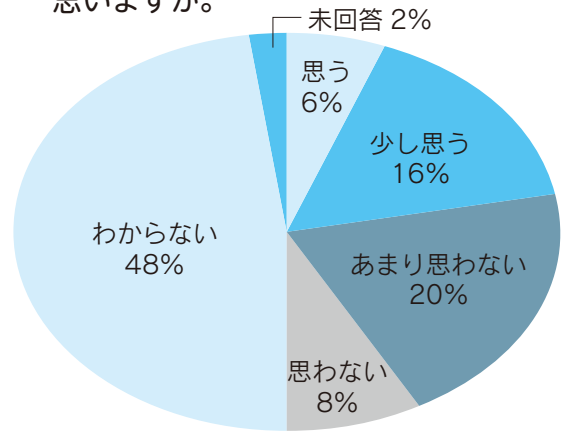


▶「思う」「少し思う」を合わせて「反映していると思う」が約3割(29%)

Q5 あなたは議員や市議会に何を期待しますか。
【複数回答あり】

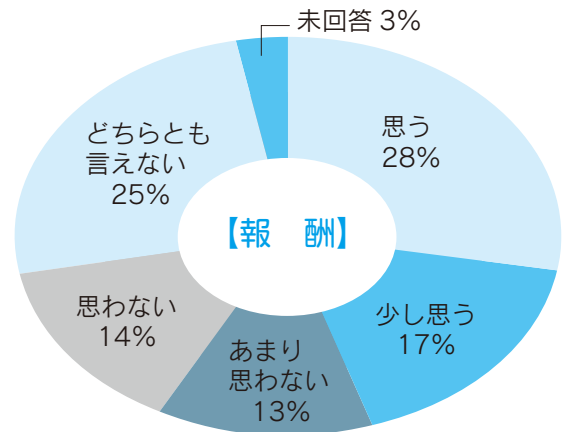
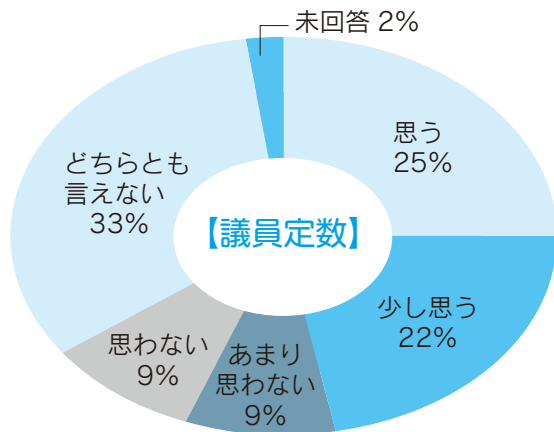


Q6 あなたは現在の市議会を評価できると思いますか。

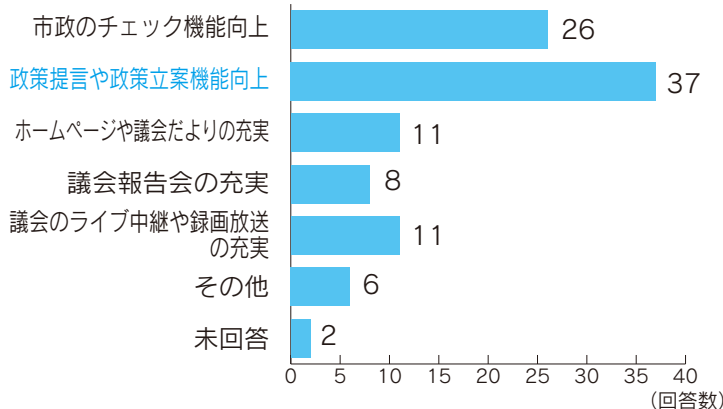


▶「思う」「少し思う」を合わせて「評価できると思う」が約2割(22%)

Q7 議員定数や報酬は適当だと思いますか。



Q8 あなたが求める議会改革についてお聞かせください。
【複数回答あり】



○調査期間：令和4年11月1日～令和4年11月30日
○回答総数：64件
○調査方法：議会だよりの、ホームページ、地域コミュニティセンターなどの市内公共機関

令和4年度議会報告会の代替事業として実施しました「議会に関する市民アンケート」は、多くのご協力の中、64件もの貴重なお声をいただくことができました。誠にありがとうございました。皆様からいただきましたご意見・ご要望等につきましては、今後の議会改革や議会運営に生かしてまいりますので、今後とも本市議会活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都留市議会 議会改革特別委員会委員長 国田 正己

議会のICT化について

研修内容

議会運営委員会では、令和4年12月定例会からのタブレット端末運用開始に先駆け、11月14日から15日にかけて、静岡県御殿場市議会、山梨県富士川町議会へ視察を行いました。当日は、導入当時の様子から現在の運用、運用開始後に発生した課題への対応や、今後の取り組みなどについてご教授いただきました。

Q&A 御殿場市議会

問：議場内でタブレット操作がわからなくなったことはなかったか。
また、わかるようになるまでの期間はどのくらいであったか。

答：議場であっても、わからなくなったら手をあげ、近くのわかる者がサポートするなど、委員会で決め事を作成した。当初は紙との併用をし、勉強会もかなり行い、概ね1年程で慣れた。

問：今後の委員会における議員の

オンライン出席について。

答：議員がコロナに感染した時には、自宅からオンラインで会議へ参加できるが、全員が自宅からというところまでには至っていない。
問：災害発生時の運用想定は。

答：「議会災害対応マニュアル（議会BCP）」を策定しており、安否確認については、電話やファックスなど、あらゆる手段で行う。

また、議員は災害現場の写真や動画等を撮影した時には、タブレットの災害フォルダーに保存し、説明とあわせて議会災害対策会議に情報提供し全議員で情報共有を図るほか、議会災害対策会議のオンライン開催などを想定している。

問：タブレットを使用する中で、何か不具合はあるか。

答：電子機器のためバッテリーやタッチの感度が悪くなる。改選に併せ4年ごとの更新契約にしたい。



御殿場市議会での研修

Q&A 富士川町議会

問：アプリの追加についての取扱いは。また、有料の場合は。

答：議員が必要なアプリに関しては、個人の判断で追加してもらっている。有料の場合は個人負担。

問：1年間、紙資料との併用をしたとのことだが、紙資料がなくなった時は、大丈夫だったか。

答：紙資料が必要な人は、自分で印刷してくるようになっていた。

問：災害発生時にはどのような運用を想定しているか。

答：細かい決め事はないが、議員も地域へ行き、地域の中でできる活動をし、事務局から新しい情報があれば、それを地域に伝えるような事を想定している。

問：議員への連絡手段は。

答：各種通知や当局からのお知らせ事項も全てメールで一斉配信し



富士川町議会での研修

ている。議員は必ず1日1回タブレットを開き、メールのチェックをする約束がある。

考察

今回視察した、御殿場市議会と富士川町議会はともに数多くの研修を重ね、紙資料の併用運用を経て、本格運用を開始されている。

また、政務活動として各議員が自宅にタブレット端末を持ち帰り、災害時にも活用できる準備を進めていた。

研修先の議員からは、「とにかくタブレットに触れて慣れることが大切」とのアドバイスもあったが、日々タブレットに触れる機会を増やし、各会議での活用や研修を重ね、タブレット端末に慣れることが最も重要であると改めて感じた。今後は、ペーパーレス化による資源の節約、労務の削減とともに、タブレット端末を自宅へ持ち帰り、委員会や本会議のみならず事務局との連絡調整や議会報告会など議員活動での使用、また、災害時の各地域における緊急情報の伝達や情報収集などの活用についても検討していく。

■令和4年12月定例会 本会議でのタブレット端末の使用を開始

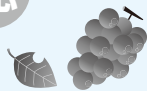
令和4年12月定例会より、本会議及び委員会において、紙資料との併用によるタブレット端末の使用を開始しました。

今後は、資料の完全ペーパーレス化や会議のオンライン化を進め、効率的な議会運営や議員活動にタブレット端末を活用していきます。



議会日誌

10月



- 2日(日) 第24回都留いきいきフェスティバル 2022開会式典
- 3日(月) 議会だより編集委員会
- 7日(金) 都留・ヘンダーソンビル友好委員会理事会・総会
- 16日(日) 第44回都留市合唱祭
- 17日(月) 議会だより編集委員会
- 18日(火) 山梨県市議会議長会 正副会長・事務局長会議
- 19日(水) 新潟県三条市議会 経済建設常任委員会 行政視察
- 24日(月) 関東市議会議長会第1回理事会
- 26日(水) 議会運営委員会、全員協議会、10月臨時会、消防委員会
- 27日(木) 山梨県高齢者医療広域連合定例会
- 31日(月) 会派代表者会議、下水道運営委員会

11月



- 2日(水) 第268回山梨県市議会議長会定期総会
山口県萩市議会 総務常任委員会行政視察
- 3日(木) 都留市文化祭式典並びに表彰式
- 7日(月) 会派代表者会議、水道運営委員会
- 8日(火) 福岡県朝倉市議会 建設経済常任委員会 行政視察

- 9日(水) 全国市議会議長会第299回理事会・第113回評議員会合同会議
- 10日(木) 富士・東部広域環境事務組合議会 先進地視察研修
都留市戦没者慰霊祭
- 11日(金) 大月都留広域事務組合議会11月定例会
- 12日(土) 都留市青少年健全育成推進大会
- 14日(月) 議会運営委員会視察研修(～15日)
- 16日(水) 長野県高森町議会 産業建設委員会行政視察
- 17日(木) 市立病院運営委員会委嘱状交付式及び市立病院運営委員会
- 20日(日) 第1回つる湧水の里ランフェス 開会式
- 28日(月) 議会運営委員会、全員協議会
- 30日(水) 12月定例会開会

12月



- 1日(木) 下水道運営委員会、水道運営委員会
- 9日(金) 山梨県体育功労者賞受賞祝賀会
- 12日(月) 代表質問
- 13日(火) 一般質問
- 14日(水) 総務産業建設常任委員会
社会厚生常任委員会
- 16日(金) 議会運営委員会、全員協議会、12月定例会閉会、議会改革特別委員会 仕事納め式
- 28日(水)

各会議等における議員の欠席日数状況報告

(R4.10月～12月)

	山口 一裕	小俣 哲夫	志村 武彦	小林 健太	日向 美徳	天野 利夫	奥秋 保	山本 美正	小澤 眞	藤江喜美子	藤本 明久	鈴木 孝昌	谷垣 喜一	国田 正己	小俣 義之	小俣 武
本 会 議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
常 任 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
特 別 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
全 員 協 議 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
議 員 研 修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



山梨県立産業技術短期大学校
都留キャンパス 生産技術科
2年
おおさわ ゆうき
大澤 佑季さん

都留市の未来に貢献

私は都留市で生まれ、今も暮らしています。そして市内にある「山梨県立産業技術短期大学校 生産技術科」に在籍する2年生の学生です。「生産技術」と聞くと、工場での生産ラインの管理などを思い浮かべる方が多いと思いますが、「生産技術科」では、「機械設計」、「機械加工」、「機械制御」などの機械を造り動かすための技術を幅広く学んでいます。

現在、私は卒業研究で「SolidWorks」という3次

元CADを利用してロボットの構造、部品を設計し製作しています。またその一環として、昨年11月にアイメッセやまなしで開催された「ロボコンやまなし2022」の自由参加の部に出場しました。残念ながら優勝には届きませんでしたが、3位とアイデア賞を受賞しました。ロボコンが終了した後、更に高性能なロボットを製作するため、他の参加者のロボットや今まで学習してきた技術を活かし、試行錯誤を積み重ねています。

4月からは市外にある精密機械部品を製造する会社へ就職します。そこで進化し続ける様々な技術をいち早く身につけ、精密医療機器の開発や設計を通じて今までお世話になった都留市や山梨県に大きく貢献したいと思います。

●表紙の説明

「放課後子ども教室」では、小学校区ごとに放課後や週末・冬休みに、子どものための安全・安心な活動拠点（居場所）として、地域の方々の協力のもと、様々な体験活動を行っています。今回は、禾生第二小学校の児童 20 人が、「昔の遊び」をテーマに、尾県郷土資料館協会の皆さんが見守る中、昔ながらの遊びを元気いっぱい楽しみました。



議会だより編集委員会

議会だより編集委員会
委員長 天野 利夫
副委員長 谷垣 喜一
委員 藤江喜美子
委員 小澤 眞
委員 小林 健太

編集委員 小澤 眞

るため、議会としても尽力してまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願いたします。

さて、10月臨時会・12月定例会では、マイナンバーを取得し、かつ公金受取口座を登録された市民の皆様へ5千円を給付する事業をはじめ、コロナ・円安等による物価高に対する支援を行う補正予算が可決されました。今後も市民生活を守るため、議会としても尽力してまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願いたします。

してまいります。

次期定例会及び請願提出について

3月定例会日程（予定）

- 開 会 3月 2日(木)
- 代表質問 3月13日(月)
- 一般質問 3月14日(火)
- 閉 会 3月23日(木)

請願提出締切日(予定) ●2月27日(月)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。



コロナ禍の中、市民の皆様も窮屈な生活を強いられることと存じます。これからはウイズコロナ対策をどの様にしていくのか、議会も市民の皆様のために真剣に考えてまいります。

市議会は本年4月に改選を迎えますが、今期は議会活動にも色々支障がありました。そのような中、昨年12月定例会からタブレット端末の運用を開始し、今後は感染症等で制限が掛かっても活動に支障のないよう、新しい議会運営・議会活動の在り方を検討してまいります。